

人権教育年間指導計画 チェックポイント

人権教育全体計画の構想を、日々の教育活動でどのように具現化していくか、全教職員の共通理解のもと、計画的、組織的に指導できるようにするため、年間指導計画を作成します。

学習内容や単元の配列、実施時期、各教科等との関連等を明確にし、「いつ」、「どのように」、「どんな内容を」指導していくのかを月別や学年別等の一覧にして、取組の全体像を把握し、これにより教育活動全体が一貫性をもち、児童生徒が段階的に人権尊重の意識を高めるための指導を行うことを目的としています。

① 作成&見直しのポイント

- ☐ 児童生徒の発達段階を踏まえ、6年間・3年間で育てたい資質・能力を見据えた体系的な計画となっている。
- ☐ 全体計画に示されている各教科等の指導の目標・ねらいを受け「人権教育とのかかわり」を明確にする。
- ☐ 「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができる児童生徒の育成のため、関連する教育活動と結びつける。
- ☐ 各教科では、学習内容や指導方法等から人権教育の目標と結び付く教育活動を見出す。
- ☐ 道徳の時間については、自己を見つめ、道徳的価値の自覚を深め、主体的に道徳的実践力を身につけていくことができるよう、内容項目「生命尊重」「公正・公平」等、人間尊重の精神とかかわりの深い内容を設定する。

② 留意点

- ☐ 全教職員の参加・協力の下に策定する。
- ☐ 年度ごとに、実施内容、方法、時期等を見直し、改善を行う。